

防災資機材整備事業

多様化する社会における
災害初動対応の充実のために

宮古市企業版ふるさと納税寄附募集プロジェクト



(プロジェクトの概要)

宮古市は、地震、津波、高潮、風水害、土砂災害などの多様な災害の危険性を有しています。

関係機関との災害時における協力協定の締結を積極的に進めていますが、災害発生時の初動における対応は、自治体の備蓄状況が大きく影響します。

このことから、宮古市では大規模災害による被災者の当面の生活に必要な資機材の整備を進めています。

宮古市 総合防災 ハザード マップ

—2023—

避難のために

いのちをまもる！









も く じ

わが家の備え・防災学習・避難活用情報について

市民のみなさまへ …… P.1	安否確認 …… P.73
わが家の防災マップ …… P.1	マイ・タイムライン …… P.74
地震への備え …… P.2	非常用備品 …… P.75
津波避難 …… P.5	災害時の主な連絡先 …… P.75
水害・土砂災害 …… P.6	
防災情報 …… P.7	

ハザードマップについて

マップの使い方 …… P.10	凡例の説明 …… P.11	さく引図 …… P.12
地震・津波 …… P.13	洪水・土砂 …… P.31	

表紙写真

表紙の写真は、平成23年東日本大震災津波と平成28年台風第10号による最大な被害を記憶にとどめ、市と市民が一体となって防災対策に取り組み続けていくために掲載しました。

罹災の被災者を
救済する津波
（駒川町）

自然の定数値
を超える津波

避難所等に
押し寄せた津波

浸水した
避難所等

取り壊された
国道10号等
（花巻市）

■ 浄土ヶ浜のいいイロ「エターナルグリーン」

■ レベル5「緊急安全確保」の色「黒」

(事業の具体的な内容)

▷ 生活必需品の備蓄

大規模災害による被災者の当面の生活に必要な食糧、飲料水などの備蓄。



▷ 要配慮者のための備蓄

足腰に不安のある方が快適に過ごすための簡易パーティション・ベッドなどの備蓄。



▷ 停電時の電源確保

ポータブル電源や可搬型太陽光発電システムの整備。



▷ 非常時の通信確保

災害対策用衛星携帯電話の整備。



(事業費)

1,100万円

(寄附目標額)

500万円

(企業の皆様へのメッセージ)

宮古市では、これまで東日本大震災や平成28年台風10号、令和元年東日本台風による被災を教訓に、円滑な避難方法、防災教育、情報提供手段の拡充等のソフト事業による防災対策と組み合わせて、被害を最小限に食い止めるため、防災資機材整備を進めてまいりました。

複雑多様化する社会環境に伴い変化していく市民のニーズに寄り添うため、今後はより充実した防災資機材の用意、備蓄が必要になります。

当市の取り組みにご賛同いただきますようよろしくお願いいたします。